

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2025年4月1日 259号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



②

●トヨタハイラックス：四駆オフロード仕様のピックアップ。



①

●日産パトロール：悪路仕様ながら乗り心地に優れたワゴン。



④

●いすゞトラック：あらゆる作業に活躍します。



③

●いすゞトラック：パクー販売用の冷凍庫を備えます。



ぬかるみを走る車

無理に通る
とぬかるみ
にはまつて
動けなくなつ
たり、通れ

現在レダには5台の車両があります。2台が作業用トラック、3台が遠出用の四駆車です。
一番古いのが①日産パトロールで、25年も使っています。この車は2000年、パラグアイを任地としていた日本人女性宣教師たちが、文総裁がレダで乗る車両を用意しようと、日本でファンデーションでレーディングして購入しました。次が②トヨタのハイラックスで、米国の家庭連合から寄贈されました。次に、パクーの販売用として③冷凍庫付きのいすゞを購入。夏の暑い時期に新鮮なパクーを届けるための大切な車両です。そして最近、④いすゞのトラック2台を購入しました。1台目は自立経済のために用意した資金で購入、2台目はターボ付きエンジンを備えたものをアメリカからの支援で購入しました。中古ですが、走行距離50000kmと、ほぼ新品同様の状態で購入しました。

レダ周辺の道路は未舗装なので、雨が30分降るだけでも走行がとても困難な状態になります。

現在レダには5台の車両があります。2台が作業用トラック、3台が遠出用の四駆車です。
一番古いのが①日産パトロールで、25年も使っています。この車は2000年、パラグアイを任地としていた日本人女性宣教師たちが、文総裁がレダで乗る車両を用意しようと、日本でファンデーションでレーディングして購入しました。次が②トヨタのハイラックスで、米国の家庭連合から寄贈されました。次に、パクーの販売用として③冷凍庫付きのいすゞを購入。夏の暑い時期に新鮮なパクーを届けるための大切な車両です。そして最近、④いすゞのトラック2台を購入しました。1台目は自立経済のために用意した資金で購入、2台目はターボ付きエンジンを備えたものをアメリカからの支援で購入しました。中古ですが、走行距離50000kmと、ほぼ新品同様の状態で購入しました。

レダ周辺の道路は未舗装なので、雨が30分降るだけでも走行がとても困難な状態になります。

過酷な道を切り拓くレダの車

現在レダには5台の車両があります。2台が作業用トラック、3台が遠出用の四駆車です。
一番古いのが①日産パトロールで、25年も使っています。この車は2000年、パラグアイを任地としていた日本人女性宣教師たちが、文総裁がレダで乗る車両を用意しようと、日本でファンデーションでレーディングして購入しました。次が②トヨタのハイラックスで、米国の家庭連合から寄贈されました。次に、パクーの販売用として③冷凍庫付きのいすゞを購入。夏の暑い時期に新鮮なパクーを届けるための大切な車両です。そして最近、④いすゞのトラック2台を購入しました。1台目は自立経済のために用意した資金で購入、2台目はターボ付きエンジンを備えたものをアメリカからの支援で購入しました。中古ですが、走行距離50000kmと、ほぼ新品同様の状態で購入しました。

レダ周辺の道路は未舗装なので、雨が30分降るだけでも走行がとても困難な状態になります。

■道路の劣化 他にも、レダ近辺の牧場が牛を出荷するためにトラックを使うのですが、彼らは道よりも牛を売るこの方が大切なので道路の状態がどんどん悪くなります。

■車の劣化 そうして状態の悪くなつた道を走ることで、更に車によくない負荷がかかり、劣化が進んでいきます。(次面につづく)



ぬかるみから救出

QRコード
は動画です。
ご覧の方は
タップ(タップ)
できます。

現在レダには5台の車両があります。2台が作業用トラック、3台が遠出用の四駆車です。
一番古いのが①日産パトロールで、25年も使っています。この車は2000年、パラグアイを任地としていた日本人女性宣教師たちが、文総裁がレダで乗る車両を用意しようと、日本でファンデーションでレーディングして購入しました。次が②トヨタのハイラックスで、米国の家庭連合から寄贈されました。次に、パクーの販売用として③冷凍庫付きのいすゞを購入。夏の暑い時期に新鮮なパクーを届けるための大切な車両です。そして最近、④いすゞのトラック2台を購入しました。1台目は自立経済のために用意した資金で購入、2台目はターボ付きエンジンを備えたものをアメリカからの支援で購入しました。中古ですが、走行距離50000kmと、ほぼ新品同様の状態で購入しました。

レダ周辺の道路は未舗装なので、雨が30分降るだけでも走行がとても困難な状態になります。

現在レダには5台の車両があります。2台が作業用トラック、3台が遠出用の四駆車です。
一番古いのが①日産パトロールで、25年も使っています。この車は2000年、パラグアイを任地としていた日本人女性宣教師たちが、文総裁がレダで乗る車両を用意しようと、日本でファンデーションでレーディングして購入しました。次が②トヨタのハイラックスで、米国の家庭連合から寄贈されました。次に、パクーの販売用として③冷凍庫付きのいすゞを購入。夏の暑い時期に新鮮なパクーを届けるための大切な車両です。そして最近、④いすゞのトラック2台を購入しました。1台目は自立経済のために用意した資金で購入、2台目はターボ付きエンジンを備えたものをアメリカからの支援で購入しました。中古ですが、走行距離50000kmと、ほぼ新品同様の状態で購入しました。

レダ周辺の道路は未舗装なので、雨が30分降るだけでも走行がとても困難な状態になります。

■道路の劣化 他にも、レダ近辺の牧場が牛を出荷するためにトラックを使うのですが、彼らは道よりも牛を売るこの方が大切なので道路の状態がどんどん悪くなります。

■車の劣化 そうして状態の悪くなつた道を走ることで、更に車によくない負荷がかかり、劣化が進んでいきます。(次面につづく)



レダの朝焼け。美しい雲が時々刻々変化していきます。



雨季、レダの大地は美しい緑色。草刈りは大変です。



3月1日

●滝川夫妻と川久保夫妻がアスンシオンの島田家を訪問。



●1月、2月の誕生日会。5人の誕生日を祝いました。2月18日



●月に1度来る貴重な商船、トレス・エルマノス。2月24日



●同上。5人の息を合わせます。その後はゲームを楽しみました。



●コアリクイ:抱きつかれると危険。



●蜂蜜の遠心分離機。1月28日



●山崎氏が釣ったマングルジュ79cm。2月16日 下に動画QR

Ipomoea
rubens

レダの車両（一面よりつづく）

穴が多く、デコボコした道を走るので、ダメージを最も受けるのがサスペンションです。本当によく故障します。他にも電気系統がダメージを受けてエアコンが使えなくなったり、タイヤに絡まった粘土質の土が中に入つてブレーキが効きにくくなったりもします。最近では車のシャフトが落ちるなんてこともあります。他にも種々の細かい不具合は頻繁に起っています。

●人にも車にも負担 今は特にトヨタ（ハイラックス）を使っていて、ロマ・プラタまでの2倍以上も遠い首都アスンシオンに行くこともあります。よく運転をするパブロさんをはじめ、人にも車にも負担があまりにも大きい状態です。かといって他に使える車両もないのです。いつトヨタが使えなくなつても不思議ではありません。

●後継の車が必要 今トヨタの代わりに使える車両が必要ということで、四駆のトラックの購入を検討しています。他にもパクーの販売用にバンのような車があればいいなど、そんなことを考えています。今回はレダで頑張る車の紹介でした。（チャパボラ坂西記）

チャパボラの養豚レポート



●入り江を渡って養豚場から対岸の森へ毎日往来する豚たち。森には食べ物もありますが、ティグレに襲われるリスクもあります。



動画(タップ可)



●水浴びは皮膚を清潔にし、体を冷やすために欠かせません。

■ 養豚場のあるレティロはレダ基地から約5.5km離れた位置にあります。飼い方は、基本的に放牧です。先住民チャマココの従業員2人と、日本人の養豚責任者2人、チャパボラ生1~2人で担当しております。(例外あり)
豚たちには朝方と夕方とに、どうもろこしを与えていますが、日中彼らは大自然の中を駆け巡り、自ら餌を探し歩いています。そして夕方の鐘を合図にレティロに戻ります。(例外あり)

プロジェクトは、可愛いとの想いだけでは遂行できない
今年1月から養豚を担当しておりますチャパボラ生、佐藤がレポートします。



●お母さん豚が子豚たちに乳を飲ませる姿。まだまだ不十分な部分が大きいのです。

●豚を飼育する上で重要なのが飼料計画を始め、繁殖・頭数の管理・保護等です。それには専門的な知識と実地経験を持つ人材が求められます。育成計画を立て、円滑に実行。運用し、問題が起きたときも迅速な対処で豚を守れる専門家です。

●二つ目は、「豚たちがティグレ(ジャガーアイ)に捕食されてしまう」ことです。この問題には、悪いばかりとも言えない側面もあるので、それを先に触れておきます。

近年パラグアイ周辺の国々では、森林伐採などによりティグレの生息数が減少して

■ パンタナールの大自然×豚の放牧
創造本然の姿を残しているパンタナールは、内的世界にも外的世界にも心情が驚くほど育まれる環境です。そんな地で活動する私ですが、今この養豚プロジェクトが抱えている問題に目を向けてみましょう。

●一つ目が「養豚に関する専門知識を有する人がレダにいない」とです。レダでは日々様々な課題が発生しますが、それに私たち抱えている問題に目を向けてみましょう。

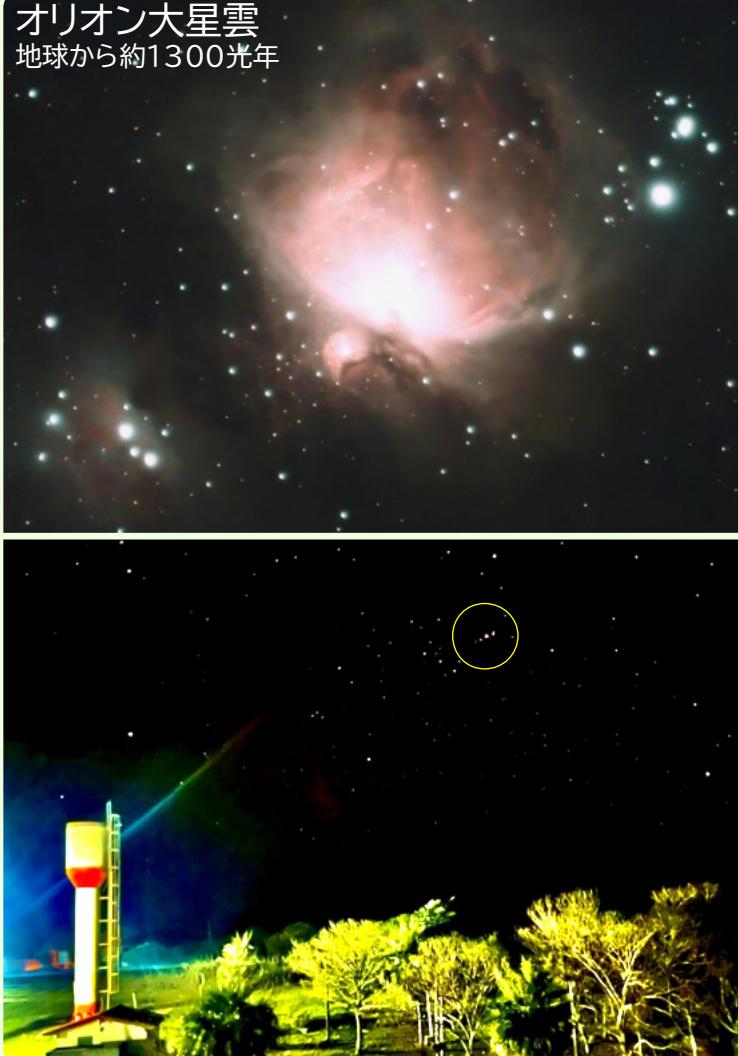
●一つ目が「養豚に関する専門知識を有する人がレダにいない」とです。レダでは日々様々な課題が発生しますが、それに私たち抱えている問題に目を向けてみましょう。

●人間の問題は、養豚だけでなく、レダプロジェクト全体の経済自立が成るか否かを左右する一大要因です。日本人スタッフの戦力増強も極めて大きなカギです。

●原初のエデン・レダの養豚プロジェクトでは、神様が創造なさった原初の【エデンの園】の姿が生き生きと残っているレダならではの味わいのある、万物との出会いがあります。ここでは、本然の心が自ずと湧き上がってくるのを感じます。興味のある方は是非一度レダにお越しください。

●神様、この機会を与えてください、ありがとうございます。(チャパボラ 佐藤記)■

オリオン大星雲 地球から約1300光年



●紙面版発送の終了：2026年1月、紙面版の発送は終了します。ただし、引き続き紙面版を希望される方は、その旨を下記事務局に通知してくだされば、これままで通り郵送いたします。

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒182-0021
東京都調布市調布ヶ丘
2-15-1 ビリアベルデ 407
電話：042-449-0183

支援金振込口座：ゆうちょ銀行
記号10280 番号61349751
一般社団法人 南北米福地開発協会

eメール：office@asd-nsa.com
ホームページ：<https://asd-nsa.com>

パンフレット：当会の紹介と入会申込書
<https://asd-nsa.com/sk/>

レダの電気屋さん

第21回



レダの電気屋さんは、レダに来られる方々に星や宇宙の話をさせていただくことがあります。レダは乾季になると空が澄んでいて、とても綺麗な星空を見ることができます。レダに来ていた青年の要望で観望会を開いたことが事の始まりです。そして、昨年のツアーに来られた方から小さな望遠鏡を提供し

遠鏡を探していたところ、昨年の7月に「DWARF 3」というスマート望遠鏡を見つけました。早速注文したのですが、受注生産なので私の手元に来たのが今年の1月でした。

早速観測と言いたいところですが、現在のレダは雨です。山崎氏撮影。写真上：オリオン大星雲、2つ星の中央がオリオン大星雲。2022年10月2日レダにて、イ・ヨンジさん撮影。

写真上：オリオン大星雲、2つ星の中央がオリオン大星雲。2025年2月18日、レダにて山崎氏撮影。写真下：小三

解をお願いいたします。以下の中順に従つて切り替えをお願いします。

そこで、リーズナブルな望遠鏡になれば更に様々な宇宙の姿を撮影していくかもしれませんので、ご期待ください。

いつそう高めながら、発送経費を削減することで他の活動を強化するのが狙いです。会員の皆様には、どうかご理解をお願いいたします。

●【動画版+PDF版】への切り替えを希望される方はLINEまたはメールで「切り替え希望」を提出ください。（本年12月締切）翌月号より順次、【動画版+PDF版】が配信されます。

●切り替え希望を提出された方へは直接連絡をさせていただきます。その上で連絡がとれない場合は自動的に【動画版+PDF版】への切り替えとさせていただきます。

パンタナール通信を直接お届けします



パンタナール通信は当会の会報です。会員の皆様には毎月郵送・PDF・動画でお届けしています。南米レダの活動現場から来る、生の姿をご覧ください。入会申込書は左下のURL、右のQRコードから。

レダの電気屋さんも少ないです。そんな中、ようやく撮影できたオリオン大星雲が左上の写真です。

オリオン大星雲

●パンタナール通信は、2003年の創刊以来、「紙面版」に代えて、「動画版・PDF版」への移行を進めてまいります。

これにより、情報発信力を上げてまいりました。本年（2025年）より紙

に代えて、「動画版・PDF版」

に代えて、「動画版・PDF版」</p